

その他 受賞・発表歴	

実施期間	平成 29 年 10 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日			
実施地域	西宮市立さくら小学校周辺地域			
想定災害	<input checked="" type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 津波 <input checked="" type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 雷 <input type="checkbox"/> 台風 <input checked="" type="checkbox"/> 大雨・洪水 <input type="checkbox"/> 竜巻 <input type="checkbox"/> 大雪 <input type="checkbox"/> その他 ()			
参加人数 (人数のみ入力ください)	小学生	1254	教職員	72
	中学生		大人	53
	高校生		その他	
	大学生		合計	1379
	全校児童・生徒数			643

活動のテーマ (30 字以内)	防災を地域とともに考える
活動のきっかけ	平成 23 年 3 月 11 日、東日本大震災が発災した。 どこにでも起こりうる災害に対して、一人一人がどういった行動を取るべきか、学校として何をなすべきかを地域と共に考えることにした。
活動の目的	学校の避難訓練の様子を見ると、教師の指示に従って行動できる児童が多く、地震に対する備えは十分ではない。これらの実態から地域とともに命を守り、地域の一員であるという意識持つことを目的とする。

<p>これまでの活動内容 平成 30 年 10 月以前の活動</p>	<p>平成 25 年 7 月 9 日：防災学習講演会 平成 25 年 5 月 9 日：児童引き渡し訓練 平成 26 年 7 月 14 日：防災学習講演会 平成 26 年 10 月 20 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 27 年 12 月 8 日：地域合同避難訓練 平成 27 年 11 月 29 日：地域合同避難訓練 平成 28 年 2 月 10 日：地域合同避難所体験 平成 28 年 5 月 10 日：児童引き渡し訓練 平成 28 年 10 月 8 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 29 年 5 月 8 日：児童引き渡し訓練 平成 29 年 7 月 10 日：防災学習講演会</p>						
<p>今回の活動内容 平成 30 年 10 月 ～ 令和 2 年 3 月</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="384 600 497 936">完了</td> <td data-bbox="497 600 1461 936"> <p>平成 30 年 10 月 15 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 30 年 12 月 2 日：地域合同避難訓練 平成 31 年 2 月 6 日：地域合同避難所体験 平成 31 年 5 月 6 日：児童引き渡し訓練 平成 31 年 7 月 8 日：防災学習講演会</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 936 497 1265">予定</td> <td data-bbox="497 936 1461 1265"> <p>令和元年 10 月 12 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 令和元年 12 月 16 日：地域合同避難訓練 令和 2 年 2 月 9 日：地域合同避難所体験</p> </td> </tr> </table>	完了	<p>平成 30 年 10 月 15 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 30 年 12 月 2 日：地域合同避難訓練 平成 31 年 2 月 6 日：地域合同避難所体験 平成 31 年 5 月 6 日：児童引き渡し訓練 平成 31 年 7 月 8 日：防災学習講演会</p>	予定	<p>令和元年 10 月 12 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 令和元年 12 月 16 日：地域合同避難訓練 令和 2 年 2 月 9 日：地域合同避難所体験</p>		
完了	<p>平成 30 年 10 月 15 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 30 年 12 月 2 日：地域合同避難訓練 平成 31 年 2 月 6 日：地域合同避難所体験 平成 31 年 5 月 6 日：児童引き渡し訓練 平成 31 年 7 月 8 日：防災学習講演会</p>						
予定	<p>令和元年 10 月 12 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 令和元年 12 月 16 日：地域合同避難訓練 令和 2 年 2 月 9 日：地域合同避難所体験</p>						
<p>活動の中での 工夫・ポイント</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="325 1265 497 1525"> <p>地域と共に (地域性)</p> </td> <td data-bbox="497 1265 1461 1525"> <p>【地域合同避難所体験】（詳細は資料①を参照） 消防団、消防署、防災交通課にも協力をいただき、地域とともに災害について考え、備える機会となった。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="325 1525 497 1785"> <p>オリジナリティ (独創性)</p> </td> <td data-bbox="497 1525 1461 1785"> <p>【防災学習講演会】 防災に関する様々な学習活動において、外部講師および協力者として活動に参加していただいている。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="325 1785 497 2040"> <p>子ども達の 自発的な 活動 (自主性)</p> </td> <td data-bbox="497 1785 1461 2040"> <p>【児童引き渡し訓練】（詳細は資料②を参照） 防災に関する知識を高めたり、体験活動によってより実践力を高めたりする。 児童一人一人が突然の災害に備え、「自分の命は、自分で守る」という心構えをもち、行動できるようにする。</p> </td> </tr> </table>	<p>地域と共に (地域性)</p>	<p>【地域合同避難所体験】（詳細は資料①を参照） 消防団、消防署、防災交通課にも協力をいただき、地域とともに災害について考え、備える機会となった。</p>	<p>オリジナリティ (独創性)</p>	<p>【防災学習講演会】 防災に関する様々な学習活動において、外部講師および協力者として活動に参加していただいている。</p>	<p>子ども達の 自発的な 活動 (自主性)</p>	<p>【児童引き渡し訓練】（詳細は資料②を参照） 防災に関する知識を高めたり、体験活動によってより実践力を高めたりする。 児童一人一人が突然の災害に備え、「自分の命は、自分で守る」という心構えをもち、行動できるようにする。</p>
<p>地域と共に (地域性)</p>	<p>【地域合同避難所体験】（詳細は資料①を参照） 消防団、消防署、防災交通課にも協力をいただき、地域とともに災害について考え、備える機会となった。</p>						
<p>オリジナリティ (独創性)</p>	<p>【防災学習講演会】 防災に関する様々な学習活動において、外部講師および協力者として活動に参加していただいている。</p>						
<p>子ども達の 自発的な 活動 (自主性)</p>	<p>【児童引き渡し訓練】（詳細は資料②を参照） 防災に関する知識を高めたり、体験活動によってより実践力を高めたりする。 児童一人一人が突然の災害に備え、「自分の命は、自分で守る」という心構えをもち、行動できるようにする。</p>						

	<p>活動を 一過性に しないための 工夫 (継続性)</p>	<p>【防災環境の充実・地域との連携】 児童会・委員会活動、学校行事等、学校教育全般において、年度が変わっても計画的かつ継続的に防災環境を整えている。また、地域の諸団体と互いに連携し、協働することで、毎年活動を継続、深化させることができています。</p>
<p>活動の成果 (子どもやクラス、地域の変化 は見られたか) その他アピールしたい点</p>		<p>○命を大切にする気持ちを育むことにより、日常生活の場面でも、他者に優しくしたり、協力して物事に取り組んだりすることができた。</p> <p>○地域の各種関係機関と連携を図りながら、授業や様々な活動を展開することができた。地域に元々存在した資源と学校教育を結びつけることで、双方のよさを発揮することができた。地域との結びつきをより強固なものにすることができた。</p>

【記録誌掲載ページ内容の記入のお願い】 ※必須

毎年度、全応募校の活動を紹介する“ぼうさい甲子園”記録誌”(A 4 版冊子)を作成しております。記録誌掲載内容について、以下の項目をご記入ください。
ご記入いただいた内容がそのまま記録誌に掲載されますので、お書き間違いのないよう、ご注意ください。全国に各学校の取組発信をしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

【お願い】

- ★4 項目 500 文字以内でご記入ください(項目の文字数も含まます。項目を減らし 3 項目での記入も可)
- ★「で・ある」調でご記入ください

<目的・きっかけ>

- ・どこにでも起こりうる災害に対して、一人一人がどういった行動を取るべきか、学校として何をなすべきかを地域と共に考えた。
- ・地域とともに命を守り、地域の一員であるという意識持つことを目的とする。

<活動内容>

- ・児童引き渡し訓練、防災学習講演会、2・5 年生 総合的な学習、地域合同避難訓練、地域合同避難所体験を地域にも協力をいただき、地域とともに災害について考え

<活動の成果>

- ・命を大切にする気持ちを育むことにより、日常生活の場面でも、他者に優しくしたり、協力して物事に取り組んだりすることができた。
- ・地域の各種関係機関と連携を図りながら、授業や様々な活動を展開することができた。地域に元々存在した資源と学校教育を結びつけることで、双方のよさを発揮することができた。地域との結びつきをより強固なものにすることができた。

<活動の工夫・ポイント>

- ・防災環境の充実・地域との連携を図るため、児童会・委員会活動、学校行事等、学校教育全般において、年度が変わっても計画的かつ継続的に防災環境を整えている。また、地域の諸団体と互いに連携し、協働することで、毎年活動を継続、深化させることができています。